大宮南部浄化センター

みぬま見聞館だより No.76

令和7年6月1日発行

【“ヌゥ”&見聞館キャラクター“クリンちゃん”より】

写真は庭園で花を咲かせているグミの白い花です。元々庭園に植えられたものではなく、鳥のふんによって運ばれた種から発芽して大きくなったようです。いずれ実をつけてくれるでしょう。

この春、ソメイヨシノは４月の入学式頃に満開を迎えました。桜を食害するクビアカツヤカミキリの侵入を防ぎ、守っていきたいものです。

中旬になると気温が上り、４月２０日頃にはフジの花が満開を迎えました。

グミの花

令和６年度『いきもの、みっけた！』写真展

『　オシドリ　』
横須賀 篤 氏撮影

今回応募のあった３０作品の中から、来館者の方に好きな写真を選んで投票をお願いしたところ、左の写真が１位に選出され、「みぬま見聞館だより第７６号」の表紙を飾ることになりました。カモの仲間『オシドリ』を捉えた写真で撮影者コメントは『毎年、冬になるとオシドリや他のカモ類が公園の池で生活しています。』とのことです。

下の写真は応募いただいた写真です。８月末まで展示中です。是非ご覧ください。

春の自然観察・環境学習会にてハラグロオオテントウ発見

①ガイドウォーク

②ヤゴの放流

③生き物調査

４月２０日（日曜日）に春の自然観察・環境学習会を行いました。当日は、薄曇りの天気の中、７組２１名の参加がありました。埼玉県生態系保護協会の研究員、工藤洋平氏を講師に迎え『見沼たんぼの春を感じよう！』と題し、庭園でガイドウオーク（写真①）を行い、併せて市環境対策課の「生きもの調査」（写真③）を行いました。次に市内学校のプールから救出したヤゴを参加した子供達に自然庭園の池へ放流してもらい（写真②）、しいたけの駒打ちをしました。また、研修室に戻り子供達が撮影した庭園の生きものの発表会を行いました。日本で最も大きなテントウムシの一種と言われている、元々埼玉県にはいなかったハラグロオオテントウ（写真④その名のとおりお腹側が黒色をしています。）が初めて庭園でみつかるなど、様々な生きものを観察することができました。

④ハラグロオオテントウ

タヌキさん、みーつけた！　～庭園でのひととき～

その時の様子

トイレシーン

みぬま見聞館の自然庭園に春が訪れ、木々たちがさまざまな色に染まる3月半ば、いつものように池の掃除をしていたところ、すぐ横の木の根元にうずくまるものを見つけました。

野良猫かと思い、ここにいてはダメだよと注意をしようとしたところ、そこにいたのは猫ではなくホンドタヌキでした。

まだ幼いようでお互い目を合わせたものの逃げることなく、春眠暁を覚えずの言葉のように、そのまま眠ってしまいました。

ホンドタヌキはイヌ科タヌキ属に属する日本固有種で、当庭園では、時々水辺に現れることや、独特のタメ糞を数か所にしていることは確認していたのですが、こんなにも無防備な野生のホンドタヌキに出会ったのは初めてでした。

大宮南部浄化センターが自然共生サイトに認定

２０２４年３月、さいたま市大宮南部浄化センターのみぬま見聞館と自然庭園が、環境省の「３０ｂｙ３０」※目標達成への取り組み「自然共生サイト」に認定されました。さいたま市では、桜環境センター、見沼田圃斜面林に続き３件目となります。

「自然共生サイト」は人々の取り組みによって生物多様性が保全されている場所のことで、大宮南部浄化センターは次の点で、生物多様性が豊かな場所として認定されました。

① 池や林など、人の手によって守られている自然と風景が残っている
② 多くの生きものがすんでいて、生きものに触れながら環境について学ぶことができる
③ 数が少なくなった珍しい生きものがすんでいる
④ たくさんの鳥がやってきて、巣を作ったり、冬を越したりすることができる

①

②

③

④

さいたま市は自然が少ないと感じている人もいるかもしれませんが、自然共生サイトに３件も認定されるなど、荒川の周りや見沼田んぼを中心に、まだまだ豊かな自然が残っています。市役所でも、みなさんと一緒に、この豊かな自然を守っていきたいと思っています。

みなさんも、このみぬま見聞館で、生きものに触れながら自然や生物多様性について学んでみませんか。お待ちしています。

みぬま見聞館と庭園 認定
国の自然共生サイト
さいたま市内で3件目

令和７年４月１１日　埼玉新聞

※「３０ｂｙ３０」
2030年までに陸地と海の３０％を保護しようという世界目標

自然共生サイト 認定
30by30

ロゴマーク

認定証

※認定の詳細はリンク先をご参照ください。

小学校・保育園で出前講座を行いました

道祖土小学校①

道祖土小学校②

上落合保育園

皆さまのところへ職員が伺い、生きものとのふれあい体験など、自然に親しんでもらう出前講座を開設しています。写真①、②は、3月に道祖土小学校1年生の出前講座を行った際の様子です。2日間5クラス5コマで、外来生物の話、さいたま市の生きものの話、実体顕微鏡を用いたいろいろな昆虫等の標本観察や、アカハライモリ、ニホンイシガメの生体を班に分かれて観察し、コップを使ったモツゴ（魚）の体験を行いました。また、保育園でも行っています。講座の内容は相談に応じます。是非ご利用ください。（本年度は保育園の出前講座については現在年度末まで予約が埋まっております。）

お知らせ

- 7月24日（木）エコ工作シリーズ1「簡単、押し花を作ろう」
- 7月27日（日）夏休み自然観察・環境学習会
- 7月29日（火）エコ工作シリーズ2「牛乳パックからハガキを作ろう」
- 8月20日（水）SDGsお魚教室（川の国編）
- 8月21日（木）エコ工作シリーズ3「ペットボトルで万華鏡を作ろう」
- 8月22日（金）夏休み自然観察・環境学習会

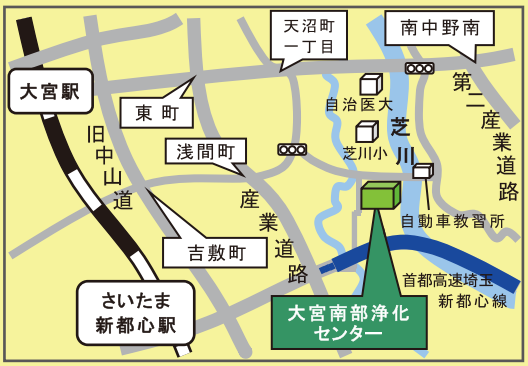
以上を予定していますが、状況に応じて中止や縮小などの場合もありますので、くわしくは市のホームページでご確認ください。

みぬま見聞館・自然庭園の見学について

みぬま見聞館・自然庭園を10名以上で見学または
職員の案内を希望される場合は事前にご連絡ください。
個人での来館もお待ちしています。

開館時間　9：00～17：00　**入館料**　無料
休館日　年末年始・毎月第4土曜日
住所　さいたま市見沼区大字上山口新田508番地1
電話番号　048-646-6030　FAX 048-646-6033

※詳しくは、「みぬま見聞館」のホームページをご覧ください。



発　　行　さいたま市環境局施設部大宮南部浄化センター（みぬま見聞館）
この印刷物は環境に配慮したインクで印刷しています　印刷部数6,400部　単価10.89円

のびのびシティ さいたま市